

運輸安全マネジメント制度について

平成17年に入ってヒューマンエラーが原因と見られる事故等が多発

鉄道

- ✓東武鉄道伊勢崎線踏切障害事故
- ✓JR西日本福知山線脱線事故

自動車

- ✓近鉄バス転覆事故
- ✓大川運輸踏切衝突事故(スーパーひたおと衝突)

海運

- ✓九州商船フェリーなるしお防波堤衝突
- ✓知床半島観光周遊船乗場

航空

- ✓JAL新千歳空港における管制指示違反
- ✓JAL客室乗務員の非常口扉の操作忘れ
- ✓ANA小松飛行場における管制指示違反

原因: >経営・現場間及び部門間の意思疎通・情報共有が不十分
>経営陣の安全確保に対する関与が不十分

➤ 運輸安全一括法の制定(平成18年3月31日公布)

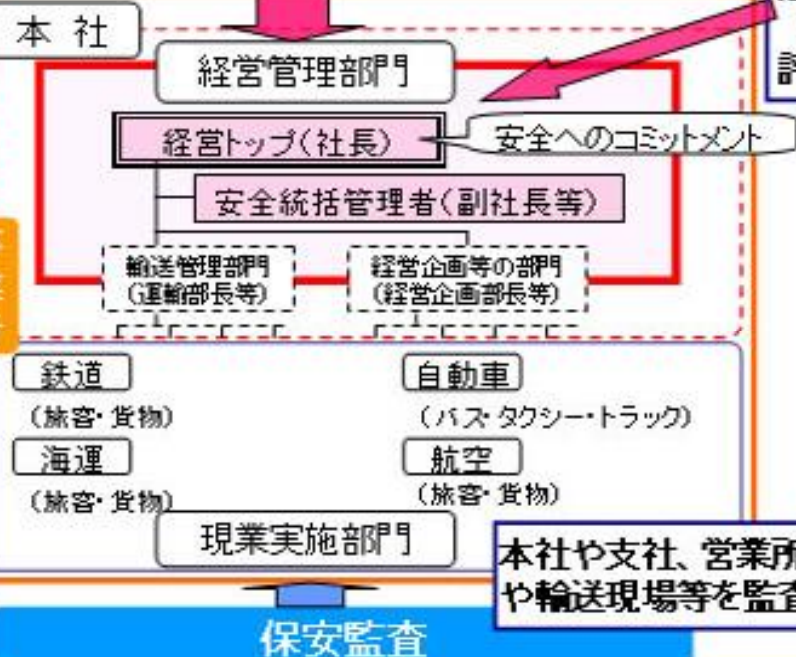
各モードの運輸事業者に対し、安全管理規程の作成及び届出の義務付け等の措置を講じ、「安全意識の浸透」、「安全風土の構築」を図る。

➤ 新組織設置(平成18年度)

運輸安全政策審議官以下約30名の新組織を設置。

平成18年10月1日～
運輸安全マネジメント制度の開始

運輸安全マネジメント制度



経営トップ、安全統括管理者等に、
運輸安全調査官等が直接インタビュー等を実施
確認された事実と講評・指摘をまとめた
評価報告書を作成・事業者に手交



国において 安全管理体制を確認

全国で約500社に対して実施
(平成18年10月～平成19年2月末)

運輸安全マネジメント評価の
確実な実施

経営トップから現場まで
一貫した安全管理体制
の構築、高度化を推進

運輸事業における最大の
サービスである
「安全」
をより確実に担保